

仮設住宅でインターネットにつなぐ方法 ～フリースポットを作ってみみんなで使おう～

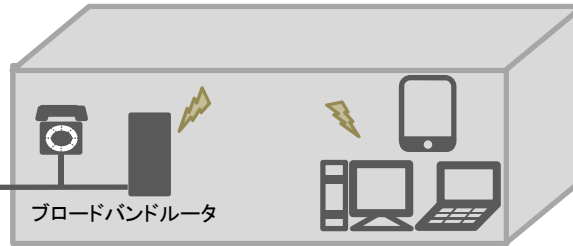
①回線を引き込んでインターネット接続



インターネット

1軒ごとに、電話回線を引いてインターネットを契約します

数台のパソコンなどを同時に利用できます



ブロードバンドルータ

<メリット>

速度が速く安定して使えるため、仕事で大きなデータ(動画・画像など)のやりとりをする場合には、回線を引くのがおすすめです

<デメリット>

電話回線の工事が必要です
毎月の利用料金がかかります(3,000円~10,000円ぐらい)。引越す場合には、引越先でも工事が必要です

②モバイルルータでインターネット接続

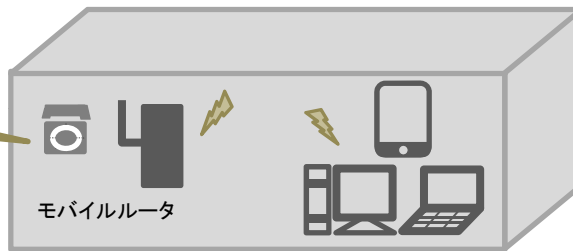


インターネット

工事は不要で、すぐに使えます
必要な機器類は支援します

携帯電話の電波でインターネットにつながります。電話回線がなくてもインターネットができます

数台のパソコンなどを同時に利用できます



モバイルルータ

<メリット>

携帯電話(NTTドコモ)の電波が入る場所であれば、工事なしで、すぐにインターネットが使えます
場所を移動してもそのまま使えます

<デメリット>

携帯の電波状況により、速度が遅くなる場合があります

③フリースポットでインターネット接続

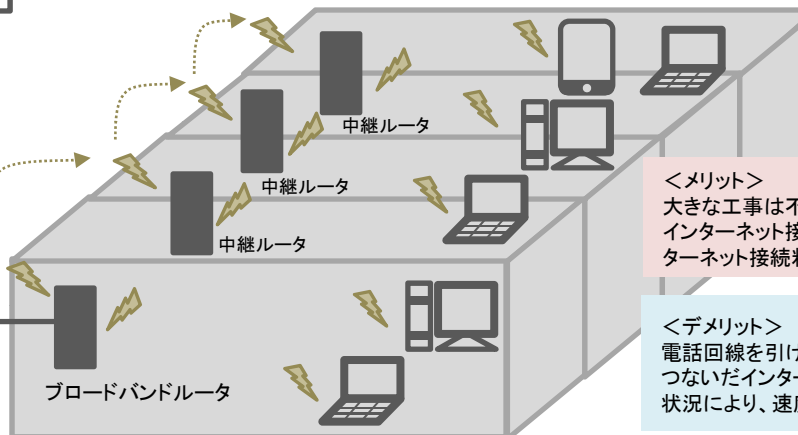


インターネット

工事は不要で、すぐに使えます
必要な機器類は支援します
設置作業はお手伝いします

広い範囲で使えるように、無線LANの電波を中継します

1軒に引き込んだインターネット回線を近隣で分け合って使います



ブロードバンドルータ

中継ルータ

中継ルータ

中継ルータ

各家庭でそれぞれ数台のパソコンなどを同時に利用できます

<メリット>

大きな工事は不要で、すぐに使えます
インターネット接続を分け合って使うことで、各家庭のインターネット接続料金を節約できます

<デメリット>

電話回線を引けない場合は、②のようにモバイルルータでつないだインターネットを分け合って使います
状況により、速度が遅くなる場合があります